

前回（第1回）会議の振り返り

（前回会議）

日時：平成30年8月6日（月）

場所：本庁舎11階会議室

	ご意見	対応
①	<ul style="list-style-type: none"> 皆さんの持っている情報の共有ができるといい。（星野部会長） 特に子ども達の意見を調べる必要がある。（葉山委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 資料3において対応（中学生会議における意見）
②	<ul style="list-style-type: none"> アクティビティに関することも環境保全優先に考えていく必要がある。（葉山委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 資料7において対応（基本的考え方への組み込み）
③	<ul style="list-style-type: none"> 看板がない公園を目指すとか、今の技術等で公園を面白くしていく考え方もある。（若松委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の事業（施策）内容の中で検討（第3回部会以降において議論）
④	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なステージがあれば、いろんなイベントができる。（田口委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の事業（施策）内容の中で検討（第3回部会以降において議論）
⑤	<ul style="list-style-type: none"> 机上での議論とともに、現場に出て行つての議論でより深まるのでは。（若松委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 次回部会で、現場視察を組み込み予定
⑥	<ul style="list-style-type: none"> 意外に江津湖を知らない人が多い。（江藤委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 資料7において対応（基本的考え方（発信）への組み込み）
⑦	<ul style="list-style-type: none"> 上江津湖、下江津湖それぞれの良さがあり、その連携が必要。→園内移動手段、船を使った環境学習（江藤委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の事業（施策）内容の中で検討（第3回部会以降において議論）
⑧	<ul style="list-style-type: none"> わかりやすい言葉で、魅力と改善するところを整理するなど、整理の仕方の工夫が必要。（藤田委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の資料整理で工夫を検討
⑨	<ul style="list-style-type: none"> 今のままだが一番いいという意見もあると思う。（若松委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 今回部会の検討事項
⑩	<ul style="list-style-type: none"> 江津湖に関わる方々の組織化、人材育成によって、大きな力が生まれるのではないかと。（葉山委員） 	<ul style="list-style-type: none"> 参考資料において、事例説明（エリアマネジメントの必要性）

⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕に散歩される方が多い。江津湖で健康になるような整備ができるといい。(田口委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業（施策）内容の中で検討（第3回部会以降において議論）
⑫	<ul style="list-style-type: none"> ・水をテーマにした観光PRについて地元でも意見がでている。(楠本委員) ・江津湖の水、熊本の水の発信（水産振興センター） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業（施策）内容の中で検討（第3回部会以降において議論）
⑬	<ul style="list-style-type: none"> ・マナー問題（飛び込み等）への対応が必要である。(宮本委員、江藤委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業（施策）内容の中で検討（第3回部会以降において議論）
⑭	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な年代の方々が利用する魅力的なものがあるといい。(東部土木総務課) ・市総合体育館と江津湖の連携（スポーツ振興課） ・歴史的な文化を活かした公園の活性化（文化振興課） ・動植物園の駐車場の活用（動植物園） ・江津湖を観光資源として活かしきれていない。ターゲットを絞った戦略が必要（観光政策課） ・人と自然の共存（ゾーニング）が必要（環境共生課） ・環境教育の分野における担い手づくりが必要。(環境政策課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料7において対応 ・今後の事業（施策）内容の中で検討